

出版産業の最新マーケティング情報紙

B.B.B. Bunkanews Book Business

7月号
2020

KPOSシステムにセルフ機能が追加! オールインワンのカスタム仕様で あらゆる店舗に対応

出版社や書店など、出版業界向けのシステムを開発している光和コンピューターは、7月にセルフPOSシステムをリリースする。POSハードウェアはメーカーを選ばず対応可能だ。

同社取締役流通ソリューション事業担当の多田元晴氏は開発の経緯について、「昨年9月ごろ、弊社のPOSシステム『KPOS』を導入しているくまざわ書店から、三洋堂書店で取り扱っているセルフPOSを試験導入したい、との相談を受け、諸条件を打ち合わせた。結果、新たに他社のシステムを載せて既存システムと連携構築するより、現在稼働しているKPOSにセルフPOS機能を追加する方が、低コストで構築できることがわかり、それをきっかけに弊社でのセルフPOSシステムの追加開発が始まった」と話す。

開発にあたっては、先行稼働していた三洋堂書店のセルフPOSシステムの仕様、運用方法を参考とし、書店独特の慣習も組み入れながら設計。開発後もUIやエラー処理に関する評価、意見をもらって、システムに反映させているという。

また、当初は書店員が顧客との接点を維持するため、セミセルフでの利用をメインに開発していたが、その間の新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、商品登録から決済まで顧客だけで完結する、フルセルフの要素を追加して開発した。

株式会社 光和コンピューター

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 3-1-2 岩本町東洋ビル 5階
電話番号：03-3865-1981 メールアドレス：kowa@kowa-com.co.jp



わかりやすく使いやすいUI



筐体サンプル

KPOSセルフシステムの特徴

- インターネットを利用したシステム(店舗でのネット契約が必要)
- 商品名称や価格等マスタ情報を、レジ開局時にサーバーから取得
- 店舗内のどこかのレジからでも、店単位のレジ点検が可能
- 書籍二段コード/雑誌JAN(アドオン)コード/13桁及び8桁JANコードに対応
- ブックカバーや書籍名表示など、各書店に対応した特殊機能
- 会員管理システム・ポイントカードの利用も可能(ハウスカード、共通ポイントカード)
- 各種決済システム、決済手段に対応可能
現金、PAY決済、クレジット、電子マネー
- 売り上げ登録から決済完了までを購入者自身(非対面)で操作可能なPOSシステム